

クレッセ新聞

2019年5月 発行
No. 116

発行 クレッセ動物病院
〒263-0001千葉市
稲毛区長沼原町794-1-1
TEL 043-286-8796

<http://cresse-ah.com>

みなさん、こんにちは☆フィラリア検査はお済みですか？今月からフィラリアの予防期間が始まります！検査がお済みではない方はお早めに♪

膵炎

膵炎は膵臓の炎症により消化器症状や腹痛などが認められる病気で、突然症状が現れる急性膵炎は比較的犬に多く、軽度なものから重症化するものまでさまざまです。重症化した動物では、多臓器不全に陥ることや黄疸や出血が止まりにくい出血傾向などにより死亡することもある為、入院による集中的な治療が必要となります。また、持続した炎症により慢性膵炎に陥る動物もいます。

【急性膵炎】突然発症する急性の膵臓の炎症
【慢性膵炎】進行性に膵臓の機能が失われる持続性の軽度な膵臓の炎症

原因

肥満
食事
高血圧
高血糖
膵管内で消化液として働く膵液が、誤って膵臓内で活性化することで自分の膵臓を消化してしまい、炎症や壊死を引き起こすと考えられています。猫の慢性膵炎では肝臓や消化管にも同時に慢性の炎症が存在していることもあり、膵臓、肝臓、消化管における炎症との関連性が示唆されています。

症状

嘔吐・食欲不振・激しい腹痛・下痢・脱水 など
腹痛のため体を丸めたり、伏せの状態でお尻だけ上げる姿勢（祈りのポーズ）を取ったりします。

重症の場合ではショックを起こすこともあり、死に至ることがあります。



祈りのポーズ

診断

血液検査や超音波検査

治療

輸液療法 点滴を実施し全身と膵臓の循環を改善させます。
食事管理 低脂肪・高タンパクの消化性の良い食餌にします。
薬物治療 抗生物質・制吐剤・蛋白分解酵素阻害薬 等

急性膵炎は犬では決して珍しい病気でありません。様々な原因で発症しますが少しでも防ぐために、高脂肪食は与えず、肥満にならないように食事管理が大切です。

看護師 鳴澤

☆藤川看護師☆

奥歯が痛くて何十年かぶりに歯医者に行きました。レントゲンを撮ったら親知らずが当たって炎症を起こしていると...薬でごまかすか抜いてしまうしかないとなり、抜くことにしましたが、なんと変な生え方をしてるらしく予約を取って後日抜くことになりました。しかも四本全部生えているのもう全部抜いてほしいです。；；とりあえず痛い歯だけ抜きますが、神経に当たると顔が麻痺すると聞いて今から恐怖です；；無事抜けるといいのですが...><

☆西山院長☆

そろそろゴキブリが出てくる時期になりました。我が家ではブラックキャップという小さな容器に駆除剤が入った設置タイプを台所を中心に数か所仕掛けてゴキブリの駆除をしています。しかし、その駆除剤の容器が猫の興味をそそるのか、夜中にコロコロと転がしてしまい、全然関係のない場所に集めてしまうため、結局また容器を元の場所に置きなおしています。毎年この様な事を繰り返して、猫は人の仕事を増やす事が仕事だと我が家では言ってます。

☆佐藤看護師☆

最近ジムに通い始めました。まともに運動するのが高校生以来というもあり、運動が嫌いなわけではないので意気揚々と通っているのですが、早速足を痛めました(笑)万年運動不足がいきなり全力で走ったらそりゃ怪我しますよね。己のダサさに苦笑いしか出てきません。わはは。自分の力量に合った適切な運動を心がけるようにします。噂によればストレッチが大変大事ということなので、めげずに頑張りたいと思います！今年中に10kg痩せたい。

☆三浦看護師☆

先日、クレッセ元看護師の原田さんと上野動物園にシャンシャンを見に行ってきました(*^u^*)
シャンシャンが生まれてから結構経ちますが、平日にも関わらず、パンダの列が50分待ちとかで、パンダ人気恐るべしでした！！
初シャンシャンでしたが、背中を向けており残念ながらお顔は拝見できず...
動物園を堪能した後も上野を散策し、食べたり飲んだりの1日でした♪
そして、相変わらず原田さんは面白かったです。

☆鳴澤看護師☆

先月、いちご狩りに行ってきました！前に行った時は、すごく美味しく感動したので、今回もシーズンではないものの美味しいだろうとすごい期待して行って、食べたのですが、無味でした。びっくりするほど無味でした。練乳をつけないと甘さも何もなく、入場料を払ってただ練乳を食べに行った感じになってしまいました...カナイ皆さん、いちご狩りでも時期は重要です。



今月のつぶやま

7歳を過ぎたら

定期的な健診をオススメします。

一般的に7〜8歳ぐらいからシニア期と呼ばれる年齢になります。

若い頃、健康面で何の心配もなかった子でも、7歳を過ぎた辺りから、病気が見つかったりすることもあります！！

人と同じで、どんな病気でも早期発見・早期治療が大切です。

まずオススメしたいのが血液検査です！貧血の有無や、内臓機能の状態などが確認できます。ご希望があれば、レントゲン検査、エコー検査なども可能です。

健診を検討されている方は、是非ご相談下さい。

フィラリア検査の時にやるとおススメよ。

